

Hope 希望を持ち
Only one かけがえのない自分を磨き
Try 未来に向けて努力する
勉強にスポーツに「熱く」なる場所
一人ひとりの「ほっと」できる場所

太良高校 HOT通信

学校ホームページ

(QRコード)



スクールニュース

(QRコード)



がんに関する講話

11月11日(金)伊万里市浄誓寺僧侶の古川潤哉先生を講師にお招きして、「生老病死(しょうろうびょうし)を考える ～ガンとホスピスを通して～」という演題でご講話をしていただきました。

この講話は健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理し、がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい認識を持たせるとともに、共に生きる社会づくりを目指す態度を育成することを目的としていました。古川先生のご講話の中では、長寿社会になりがん患者は増加しているが、がんは高齢者だけの病気ではないこと、治療には様々な選択肢があり治すことができる病気であること、現在はホスピス(緩和ケア)が中心となりつつあることなどをお伝えいただきました。がんのお話にとどまらず、僧侶の



立場から生きることの苦しみの原因が自分の思い通りにならないこと、基本的にうまくいかないことが当たり前である仏教の教えの四苦(生老病死)、諸行無常についてわかりやすくお話しいただきました。生徒の皆さんの生き方や考え方に響く大変深い内容でした。

性に関する講話

11月8日(火)、佐賀県DV総合対策センターコーディネーターの諸石加代子先生を講師にお招きして、「対等な関係を作るために」という演題で性に関する講話を実施しました。

ジェンダーやデートDVについて具体的な例や数字をあげて生徒の関心を高めたり、具体的な場面に応じた接し方や話し方を生徒に考えてもらったりわかりやすくお話しいただきました。生徒たちも大変熱心に聞いていました。講演会後の感想には、DVの恐ろしさを理解し、お互いを尊重し健全な関係を保ちながら生活していくことを決意した内容や、困ったことがあれば助けを求めてよいことがわかった、という内容の感想が多くありました。

この講話では、命の大切さや自分や他者を一人の人間として尊重することおよび自己肯定感を高めることを目的としていましたが、しっかりと伝わったようです。



鹿島・杵藤地区読書会

11月15日(火)午後2時より鹿島高校赤門学舎図書館にて鹿島・杵藤地区読書会が行われました。本校からは2年生の田口さんと峯さんが参加しました。テキストは『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』で、事前に記入を済ませた「討議の柱」プリントを持ち寄って班ごとに討論会が行われました。各班とも熱心に、また笑顔で進行し、最後に全体発表が行われました。

「この会に参加して、色々な人と関わりをもつことができ、興味深くまた楽しく話すことができました。参加してよかったです。」(田口さん)

「いろんな高校の人たちと話をするのは新鮮で楽しかったです。また、いろんな視点から物語をみられていて、自分にはなかった視点の意見もあったので、聞いていてとても参考になりました。」(峯さん)



堂々の銀メダル!

令和4年度 佐賀県高等学校弓道選手権大会

男子個人準優勝 吉村 選手(2年)

11月12、13日に行われた全国選抜県予選において2年生の吉村さんが、男子個人の部で見事準優勝を果たし、12月23日～25日に熊本市で行われる第41回全国選抜大会に出場します。男子団体(竹本、光武、吉村、黒田)も予選2位、決勝4位と全国まであと一步。頑張れ弓道部!!

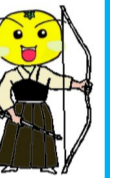
【吉村さんのコメント】

「今回、全国大会に出場することができるのは、家族や顧問の先生、弓道部員のサポートのおかげです。試合では、緊張する場面もありましたが、落ち着いて行射することが出来ました。今回感じた自分に足りない部分を練習でしっかり身につけ、全国大会で結果が残せるように頑張ります。」



今田校長と吉村選手

日々の稽古で鍛えた技と集中力
いざ



★進路講演会「先輩に学ぶ」開催★

11月15日(火)の1、2限目に、令和2年度に卒業した2名の先輩を講師に迎えて、進路講演会を実施しました。

2名の先輩は、進学した梁井さん、就職した鍛本さん。2人は高校時代、それぞれソフトテニス部、吹奏楽部に所属し、文武両道を遂げています。

進学した梁井さんは、高校在学中、自分が何をしたいのか自分に問いかけ、最適な進学先を見つけました。就職先を考えると、自分がどんな仕事をしたのか自分を見つめ、就職先を決定しました。梁井さんは、趣味の時間もきちんと確保されていて、メリハリのある学校生活を送っているようです。それがストレスを溜め込まない生き方にもつながっているということでした。

鍛本さんは、無遅刻無欠席でこの1年半勤務されています。それは他の人に迷惑をかけてはいけないという社会人としての強い責任感からきています。休みの日が決まっておらず利用者様個人個人に合わせたサービスの提供は簡単にはいかないようですが、一生懸命勤務してきたこの1年半が「これからもやっつけていける」(鍛本さん談)という自信につながっている印象を受けました。

2人が共通して口にされたことは、学習や資格取得の大切さ、体育祭のリーダーなど学校行事に積極的に参加をすることの大切さです。

生徒会長の峰松さんの謝辞に

あったように、先輩方の話を胸に、進路決定のために一日一日を大事にして学校生活を送りたいですね。



「高校の先生方を大切にしてください」
梁井さん



「資格取得をがんばってください」
鍛本さん

*新任の先生方を紹介します

【教育支援員】 山口 節美 先生

10月末より太良高校でお世話になっています。校内を巡回していますと、有明海の潮風がとても心地よく懐かしい気持ちになりました。支援員として、少しでもお役にたてるように努めていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



【高校魅力化コーディネーター】 山口 弘子 先生

はじめまして。11月より高校と地域を結ぶコーディネーターとして勤務しています。出身は唐津市、学生時代を東京で過ごしUターン、今年4月に夫の赴任でこちらにきました。同じ県内でも、唐津とは違う自然の恵みや地域の方々の優しさが嬉しくて、毎日楽しく過ごしています。ご縁をいただいたこの地で、生徒さんや地域の方々と一緒にワクワクドキドキする企画を立て、活動したいと思っています。見かけたら気軽に声をかけてください。よろしくお願い致します。



太良町文化祭に参加しました!



【吹奏楽部の演奏】



【美術部作品】

11月5・6日の太良町文化祭に、本校の吹奏楽部が参加し、演奏を行いました。展示部門では美術部の生徒が出品しました。

受賞

おめでとうございます!

佐賀県教育委員会表彰
今田 康光 校長先生

